

科目名	精神障害基礎論	担当教員	佐藤正俊 三浦正樹 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	---------	------	----------------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法専攻 作業療法専攻	専門基礎科目	必修	2年次	前期	1単位	講義

科目概要	近年患者数が増加し「5大疾病」に加えられることになった精神疾患ならびにその障害の知識は国民の健康へのアプローチに際して理解が急務で、かつ重要度の高いものである。近年は気分障害や統合失調症の生活障害と当事者の予防・精神科リハビリテーションへの注目も集まり体系的な学びが必要であることから、本講義では各種の症候学、症状学など、対象者理解につながる基本的な知識と、役立つ支援につながる実例的なポイントを学習する。
学習目標	精神障害における異常心理及び症状、検査、診断、疾患分類について説明できる。 主たる精神疾患の概念、疫学、診断、治療について説明できる。 向精神薬の種類とそれらの作用機序について説明できる。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	総論	精神医学とは何か	医学において精神医学の占める位置を確認し、精神医学の歴史と現状を展望する。診断法や国際分類についての基本的な考えを学ぶ。	
2	気分障害 不安障害と関連事項	障害の概念、疫学、症状、診断、治療	気分障害について疫学、症状、推定される成因などについて学ぶ。神経症と呼ばれる疾患群を不安障害としてとりあげ、パニック障害、強迫性障害、恐怖症を理解する。	
3	身体疾患による精神障害	症状性精神病、器質性精神病、てんかん	代表例を通じてその特徴の理解と現代における意義を考える。てんかんについても理解する。	
4	小児期精神障害	広汎性発達障害、自閉症障害、学習障害、注意欠陥多動性障害（ADHD）、精神遅滞	小児期からの障害や小児期に明らかとなる広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害を理解する。	
5	思春期・青年期精神障害 壮年期精神障害	パーソナリティ障害、摂食障害 心身症、アルコール依存症、物質関連障害	この時期に特徴的な疾患としてパーソナリティ障害と摂食障害をとりあげ、概念、症状、診断、治療を理解する。心身症とアルコール依存症をとりあげ、概念、症状、今日の現状を理解する。	
6	老年期精神障害	老年期認知症、アルツハイマー型認知症、血管性認知症、うつ病	作業の選択、介入方法、集団の利用の有無と目的、場所の選択、頻度や期間の設定について理解する。	
7	統合失調症	障害の概念、疫学、症状、診断、治療	概念、疫学、症状、診断基準、成因仮説、最近の動向について理解する。	
8	統合失調症	障害の概念、疫学、症状、診断、治療	概念、疫学、症状、診断基準、成因仮説、最近の動向について理解する。	
評価方法		筆記試験(100%)		
教科図書		上野 武治：標準理学療法・作業療法学 精神医学（医学書院）第4版		
参考図書		山根 寛：精神障害と作業療法 病いを生きる、病いと生きる精神認知系作業療法の理論と実践（三輪書店）		
学習の準備		配布する資料については、事前に予習しておくこと		
オフィスアワー		講義1回目のガイダンスで説明する		
担当教員欄に※印を附した教員の実務経験				

